

# せいらん人推協だより

発行者:晴嵐学区「人権・生涯」学習推進協議会  
第4号 平成28年3月1日発行

## 晴嵐学区人権講座を開催しました

本年度の晴嵐学区人権講座を平成27年12月5日(土)に晴嵐市民センター3階大ホールで開催しました。講師はNPO法人CASN理事長の谷口久美子氏より、演題「聴いていますか子どもの声を」～今、私たちにできること～を多数の参加者が聴講しました。当日のお話を簡単ですが紹介します。

### ☆まずは自己紹介から(プロフィール含む)

大津市知的障害者の相談支援専門員、NPO法人CASN代表、子ども専用電話「しがチャイルドライン」開設、伝承遊びの伝承者育成遊び場作り、乳幼児子育て支援“つどいの広場事業”、食と遊びで子育て支援活動、晴嵐学区で「トワイライトスティ」「みんなの食堂」展開中  
\*子どもは大人と横並び関係、人生のパートナーとして子どもに向き合う大人たちによる組織がCASN(カズン)

### ☆チャイルドラインに求めてくること

\*電話機の向こうに受け止めてくれる人がいる安心感

### ☆子どもの関係性を育む上で大切なこと

\*コミュニケーションをトレーニングする場や安心して、失敗を繰り返す場が必要

### ☆子どもが育つ上で大切なこと

\*ささやかな達成感を味わい「ヤッター」と思える瞬間が必要

### ☆異年齢の集団の大切さ

\*小さなリスクと小さな達成感の積み重ね(時間、空間、仲間、隙間)

### ☆「あなたは大切な存在だよ」という思いを伝えられる、一番簡単に誰にでも出来ること…

\*子どもの話を真剣に聴くこと、自己肯定感を持つ

### ☆子どもも大人も繋がって生きる地域社会

\*子ども、母、お年寄り、いろんな人達が見守っていける地域に「みんなの食堂」



参加者のアンケートより、参加しての印象の設問では「とても良かった 59%」「良かった 41%」であった。感想では「とても心に響きました」「子どもの話を聞く事から始めたいと思う」「協力出来る事があれば手伝いたい」等のお声をいただきました。

また、若い子育て中のお母さん方に聞かせてあげたい(聞いていただきたいかった)との意見も多数の方からありました。今後もいろいろと企画してまいりますので、ご参加願います。

# 第47回人権を考える大津市民のつどい

## 晴嵐学区 夏の集会

【講演】「子どもの人権～貧困から考える～」  
講師：幸重 忠孝氏（幸重社会福祉事務所長）



平成27年7月1日（土）9時30分から晴嵐市民センター3階大ホールに於いて「人権を考える大津市民のつどい」晴嵐学区夏の集会を開催しました。地域の皆さんや福祉関係者、学校関係者の皆さんの参加で、過去最高の178名の参加者となりました。

今、社会情勢が大きく変化する中で、貧困・虐待・DV等の理由により家庭から隔てられた子どもは、健康や学力の面で不利を強いられています。そして一層の経済格差の拡大が貧困家庭の増大をもたらし、子どもの6人に1人は最低限度の生活を営むのに難しい相対的貧困状態

となっています。

これら子どもの背景にある様々な課題は、学校現場だけで解決することは難しく、不登校や家庭の課題を抱かえている子どもが孤立（一人ぼっち）化している場合もあり、地域で子どもの居場所づくり「トワイライトステイ」や夏休み期間等で寺子屋活動等、支援活動の取り組みが始められている事例について話されました。

貧困とは「経済的な貧しさ」＋「孤立（一人ぼっち）で困っている」ことで、地域だから出来る「一人ぼっち」をなくす取り組みがさらに活発になることが大切と力説されました。

晴嵐学区においても、商店街の店舗等を活用した「夜の居場所（トワイライトステイ）」や「子ども食堂」等、石山商店街振興組合や学区社会福祉協議会等の地域諸団体とのつながりを生かした活動をされています。

## 晴嵐学区 秋の集会

「安心して暮らせるまちづくりをめざして」  
～あいさつ運動の実情と声掛けについて～

平成27年11月14日（土）晴嵐小学校を会場に、開会時間9:30～11:30、『安心して暮らせるまちづくりをめざして』をテーマで標記集会を開催しました。

前日からの雨で、出足を心配しておりましたが、地域住民（自治会、人推協、PTA、一般）46名、学校関係（教職員）72名、地域企業・行政職員等2名、合計120名の参加者がありました。

今年度は昨年引き続き分散会方式で開催し、「あいさつ運動の実情と声掛けについて」を同一のサブテーマとして、5会場それぞれ情報や意見の交換などを行いました。各会場とも同じ職場の人ばかりが重なることのないように受付時の工夫をし、いろいろな立場の人々の情報や意見が聞けるように



配慮をしての開催でした。

当日の参加者アンケート結果によりますと、挨拶や声掛けについては色々な立場の方がコミュニケーションの礎となる挨拶の大切さを指摘されており、地域住民の安心や安全に大いに寄与すると



考えておられるようでした。とりわけ子どもたちがスクールガードの方々の声掛けなどを通じて、地域の人たちに安心感を持ちながら成長しているなどの報告などがあり、その意味合いは大きいという意見をいただきました。また、各分散会場の参加者から、様々な立場の人の話が聞けて大変有意義であったとの意見も多くいただきました。

今後は、参加していただいた方には概ね好評な『秋の集会』に、将来を担う若い人たちも含めて多くの地域住民の方々に参加していただく取り組みが課題となりました。

## 晴嵐学区 社協・人推協合同研修会

平成 27 年 12 月 4 日（金）晴嵐学区社会福祉協議会と晴嵐学区「人権・生涯」学習推進協議会の合同研修会を開催しました。総数 35 名が参加され 9 時に学区を出発し、向日市社会福祉協議会（京都府）において「ご近所福祉のまち、向日市を目指す！」について向日市社会福祉協議会 地域福祉課長 木下博史氏よりご講義いただきました。（写真下段左）



取り組みとして、過去は地区社協による会食・配食活動の見守りや福祉懇談会、ワークショップ、サロン活動等に取り組んでこられてきましたが、平成 24 年より「ご近所福祉」をテーマにご近所の世話焼きさんが活動しておられます。ご近所福祉とは、昔でいう「向こう三軒両隣」の現代版として「お隣に味噌を借りる」「留守を頼む」など、以前は自然な形で隣近所の支え合いがありました。大きな事なら「災害時」。小さな事なら普段の地域の見守り。昔のようにはいかなくても、時代に合ったご近所づくりをめざしておられます。身近

な事例では高齢者宅のゴミ出しを行うことで、独居老人の孤独死やごみ屋敷化を防いだことの紹介がありました。ご近所福祉は困った人を助けることを目標にしているのではなく、ご近所の支えあえる関係を作ることを目的に、人と人のやさしさを育んだり、お互いが生かし合える地域づくりの実践です。このことは高齢者の人権を考える上にも、大変重要なことと感じさせられました。

午後はサントリービール京都工場の製造工程の見学と、美味しい試飲をいただき、その後、長岡天神にて各自参拝と自由散策を行い、帰路に着きました。



# “あいさつ”を考える

## 「挨拶は“相手の心の扉を開くカギ”と言われていました

挨拶は、小学生も知っている一般常識です。挨拶は、してもしなくても何の差支えもないので、つついしなくなってしまう。世の中にはそういう風潮があります。

晴嵐学区社会福祉協議会では、健康で安心して暮らすことが出来る街づくりを進めていく一つとして“あいさつ運動”の推進を提唱され、現在、関係機関・団体で協議されています。

当人推協では、それを受けて昨年11月14日に開催しました「人権を考える大津市民のつどい晴嵐学区秋の集会」では“あいさつ”をキーワードとして活発に話し合っていました。そして、終了後に提出されたアンケートの感想・意見から抜粋したものを特集号として、2月9日付けで社会福祉協議会の広報誌「ふくしのまち晴嵐」を発行していただきましたので、もう一度ご覧いただき、集会に参加された方々の思いを感じ取っていただければ幸いです。



挨拶のメリットはたくさんあります。

- ◎大きな声で挨拶すると気持ちが良い。  
顔は自然と明るくなり、口調もハキハキしてくる。気持ちも前向きになります。
- ◎笑顔になる機会が増える。  
無意識のうちに笑顔を作り、気持ちも上向いてきます。健康に効果があります。
- ◎相手からの印象が良くなり、人間関係も良くなる。  
挨拶をすることは相手を認めていることになり、相手も自分を認めてくれた人だと思って好意的に接するようになり、人間関係が良くなります。
- ◎常識がある人という評価が得られる。  
挨拶は礼儀の基本であり、とても簡単なものです。これが「常識があるかどうか」の判断材料の一つになります。
- ◎挨拶から会話が始まる。  
挨拶をきっかけに会話が始まります。会話が弾み、気持ちが伝わるというストレスを軽減するためにも挨拶は重要です。

## <挨拶は言われて返すのは簡単！自分から言うことが大事!!>

一人一人の人権を尊重し、差別のない社会を創造する上において“あいさつ”の実践は基本であり、欠けてはならない重要なものです。挨拶は人間関係の基礎となる大切なコミュニケーションです。

みんなで“あいさつ運動”を展開しましょう!!



人権啓発シンボルマーク  
[ 人権 = 心のマーク ]

### 【編集後記】

今年度もあと一ヶ月となり、人推協で計画しました事業も3月2日開催の県外学習で最後となりました。

今年の夏の集会、秋の集会、人権講座では“子どもの人権”をベースに開催しましたが、数多くの方から有意義なご意見やご提案をいただきました事に感謝しております。少子化に伴う高齢化は今後の課題でもあると感じています。

また、紙面に係わらず、人権に関するお気づきの点やご要望などがありましたらご意見をお待ちしております。

晴嵐学区「人権・生涯」学習推進協議会  
電話537-0743（晴嵐公民館内）